

この度は製品をご採用くださいまして、まことに有り難うございます。本書にはインパクトアーチ基礎式の基礎ブロック施工方法／現場打設施工方法が記載されています。作業の前に必ず本書をご一読ください。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示します。

- インパクトスリーブの緩衝材は取り外さないでください。• 電線や水道管等の埋設物にご注意ください。• 施工作業は作業者と周囲の安全を確保して行ってください。• 強度は地盤の質や固さによって変動します。• 商品が劣化／破損している場合は使用しないでください。

**基礎ブロック施工方法**

※現場打設施工の場合は裏面をご覧ください

**1** アスファルト切断～床堀

- □400 でアスファルトをカットして、下記適合深さまで床堀を行います。

アーチサイズ

φ76.3 : 450 mm

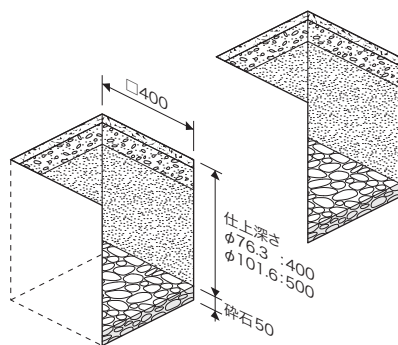
φ101.6 : 550 mm

- 碎石を 50 mm 敷き、下記適合深さになるようになります。

アーチサイズ

φ76.3 : 400 mm

φ101.6 : 500 mm



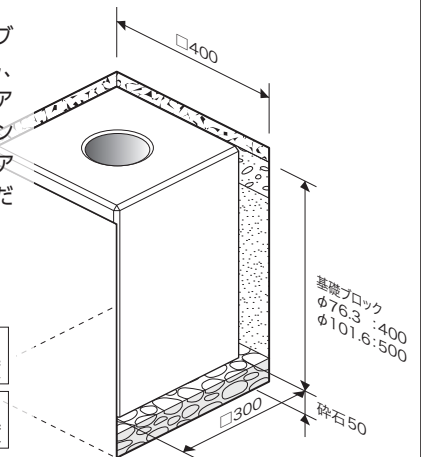
**2** 基礎ブロック設置

- 下記適合サイズの基礎ブロックのレベルを調整し、穴の中心へ設置し、コア穴のピッチは [5] のアンカーボルトの取付け後、アーチ本体で確認してください。

アーチサイズ別  
基礎ブロック寸法

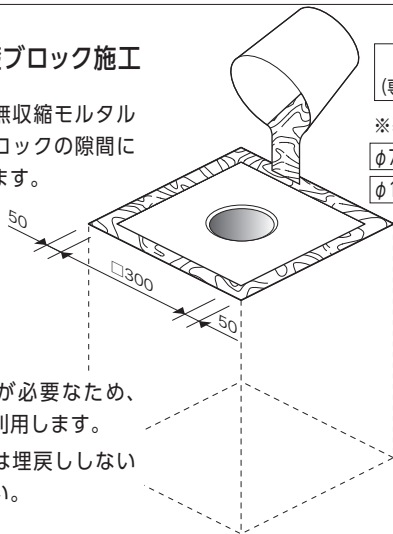
φ76.3 : □300×400  
コア穴φ130 程度

φ101.6 : □300×500  
コア穴φ160 程度



**3** 基礎ブロック施工

- 攪拌した無収縮モルタルを基礎ブロックの隙間に流し込みます。



厚盛くん  
(専用モルタル)別途

※基礎 1 基につき

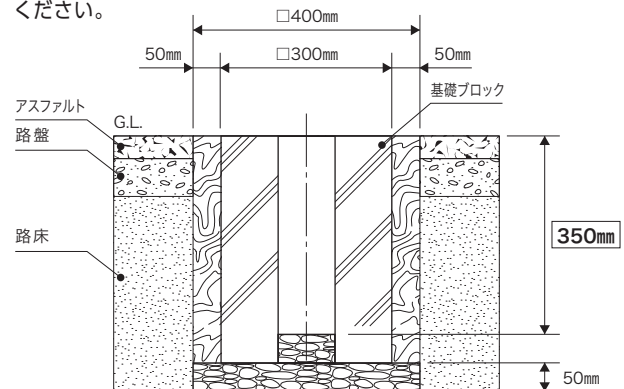
φ76.3 : 約0.028m<sup>3</sup>

φ101.6 : 約0.035m<sup>3</sup>

- ※地盤強度が必要なため、掘削面を利用します。  
△土や砂では埋戻ししないでください。

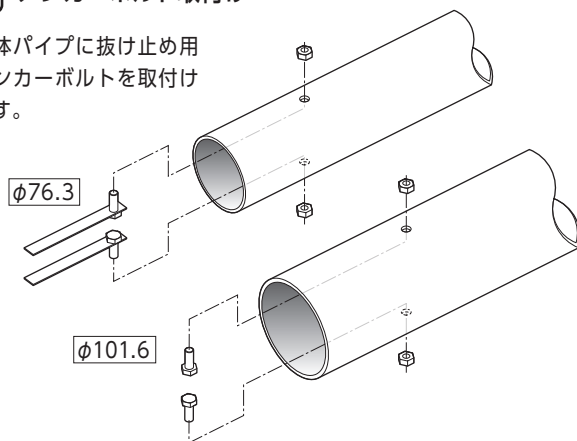
**4** 高上げ調整

- コア穴の深さを GL から 350 mm の高さになるように調整してください。



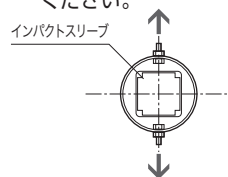
**5** アンカーボルト取付け

- 本体パイプに抜け止め用アンカーボルトを取付けます。

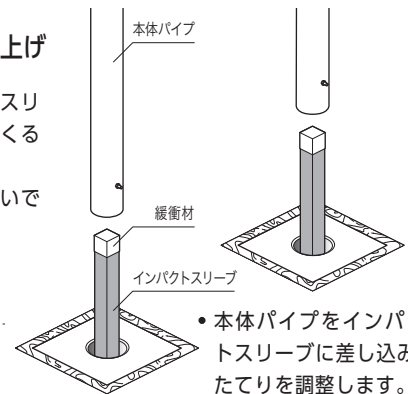


**6** 本体施工～仕上げ

- コア穴にインパクトスリーブを緩衝材が上にくるように立てます。  
※緩衝材は取り外さないでください。



- ※インパクトスリーブの面の向きはアーチの向きと合わせてください。



- 本体パイプをインパクトスリーブに差し込み、たてりを調整します。
- 添え木などで固定し、コア穴にモルタル充填して施工完了です。

現場打設施工方法 ※基礎ブロック施工の場合は表面をご覧ください

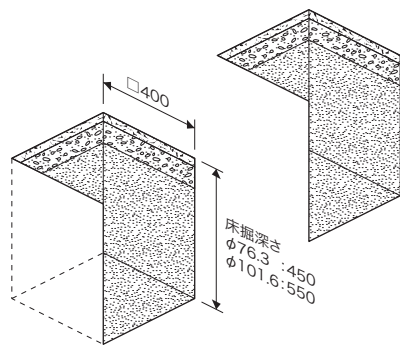
1 アスファルト切断～床掘

- $\square 400$  でアスファルトをカットして、下記適合深さまで床掘を行います。

アーチサイズ

$\phi 76.3$  : 450 mm

$\phi 101.6$  : 550 mm



2 碎石敷き

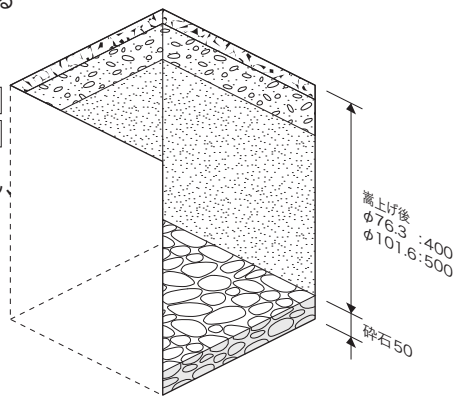
- 碎石を 50 mm 敷き、下記適合深さになるようになります。

アーチサイズ

$\phi 76.3$  : 400 mm

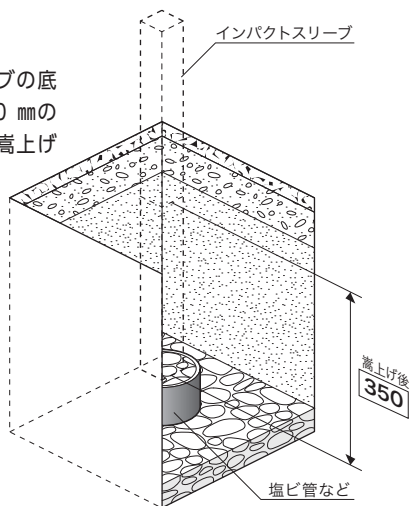
$\phi 101.6$  : 500 mm

- アーチを仮置きし、位置決めをします。



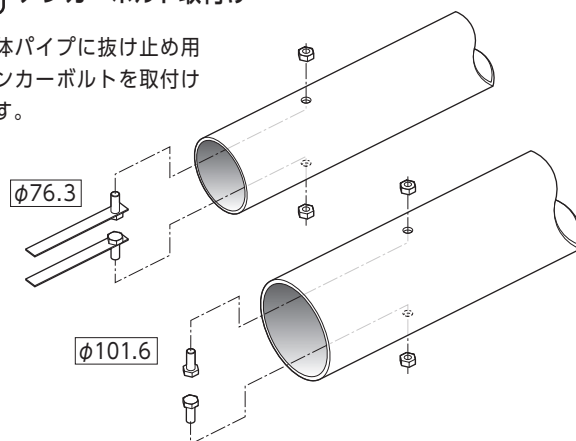
3 高上げ調整

- インパクトスリーブの底面が GL から 350 mm の深さになるように高上げ調整してください。



4 アンカーボルト取付け

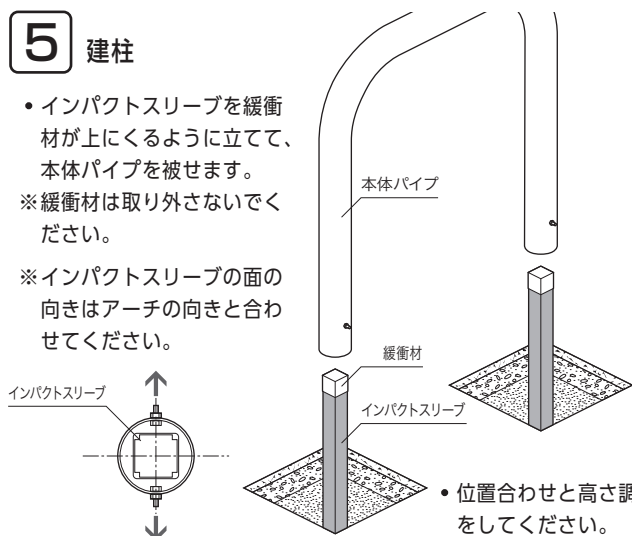
- 本体パイプに抜け止め用アンカーボルトを取付けます。



5 建柱

- インパクトスリーブを緩衝材が上にくるように立てて、本体パイプを被せます。  
※緩衝材は取り外さないでください。

- ※インパクトスリーブの面の向きはアーチの向きと合わせてください。



6 仕上げ

- 本体パイプのたてりを調整し、添え木などで固定します。
- コンクリートや速硬性無収縮モルタルで仕上げてください。

